

本年度、菅平小中学校では「郷土を拓く大地の教育」の学校目標のもと、～《認め合う心》《自ら学ぶ・仲間と学ぶ》《自ら鍛える心と身体》「心・技・体」を大切に考え「全ての教育活動を子ども理解をベースに展開」して参ります。そのために次の3点を重点としております。

一つ目は、自分や相手を大切にしたい人間関係づくりを進めていきます。少人数だからこそ大事にしていきたい人間関係の親密さ、人と人が繋がるのはなかなか難しいものです。うまくいくと明るく楽しい気持ちになりますが、そうでないと、不安になったり、時には悲しい思いををしたりすることもあります。特に小・中学校時代は人間関係で悩むことが多くなる時期でもあります。時には友達や大人とぶつかることもあるかと思いますが、トラブルを解決していく過程で大切な力が育っていくと思います。人間関係づくりは社会に出ても大切な力となりますので、様々な体験を通して豊かな人間関係を築けるようにしていきたいと思います。

二つ目は、学力の向上です。友達と教えあったり、意見を交わしたり、自分の考えを発表したり、一時間の授業の中で、かかわり学び合いながら授業を進め、授業の終わりには「なるほど、わかった、できそう、できた」と実感できる授業づくりを進めて参ります。

三つ目は、郷土に学び、郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、郷土の産業に学ぶ。最終的には郷土に生きる人材を育てていく事へつなげていきたいと思います。豊かな環境を活用した、この地に生きる事の喜びを、全ての教育活動を通して実感させていきたいと思います。

最後に、人としての心得として、「日常の五心」という言葉があります。「はい」という素直な心、「ありがとう」という感謝の心、「すみません」という反省の心、「おかげさま」という謙譲の心、「私がします」という奉仕の心です。このような言葉が多く発せられたり、行動として表れたりする学校生活になれば、より一層素晴らしい菅平小・中学校になると思います。

地域の方々から愛され、地域に開かれた学校を菅平の核として、地域活動の活性化の一端を小中学生に担わせていただきたいと思います。そのことを通して、「顔見知りの関係」「学校・地域への関心・理解」「課題を共有する関係」を深めて参りたいと思います。

菅平というまちづくりへの関心を高めながら、「地域の安全・安心を支える人・コミュニティ」を育て、学校の安全・安心に結びつけることによって、「地域に開かれた安全・安心な学校」の構築につなげて参りたいと思います。本年度もよろしく願いいたします。

平成28年 4月吉日  
校長 名取義仁